

第6章 労働力状態

1 労働力人口の推移

労働力人口は前回調査に引き続き増加

15歳以上人口（3,236,892人）の労働力状態をみると、労働力人口は2,074,042人で、前回調査に比べ、74,801人（3.7%）の増加となっています。

労働力人口を男女別にみると、男性は1,174,977人（労働力人口の56.7%）、女性は899,065人（同43.3%）となっており、前回と比べ男性は1,722人（0.1%）減少し、女性は76,523人（9.3%）増加となっており、一貫して増加しています。

さらに労働力率をみると、男性は74.0%で前回と比べ0.5ポイント上昇し、女性は54.5%で前回と比べ4.1ポイント上昇しています。

【表6-1、図6-1、図6-2】

図6-1 労働力人口及び労働力率の推移（昭和25年～令和2年）

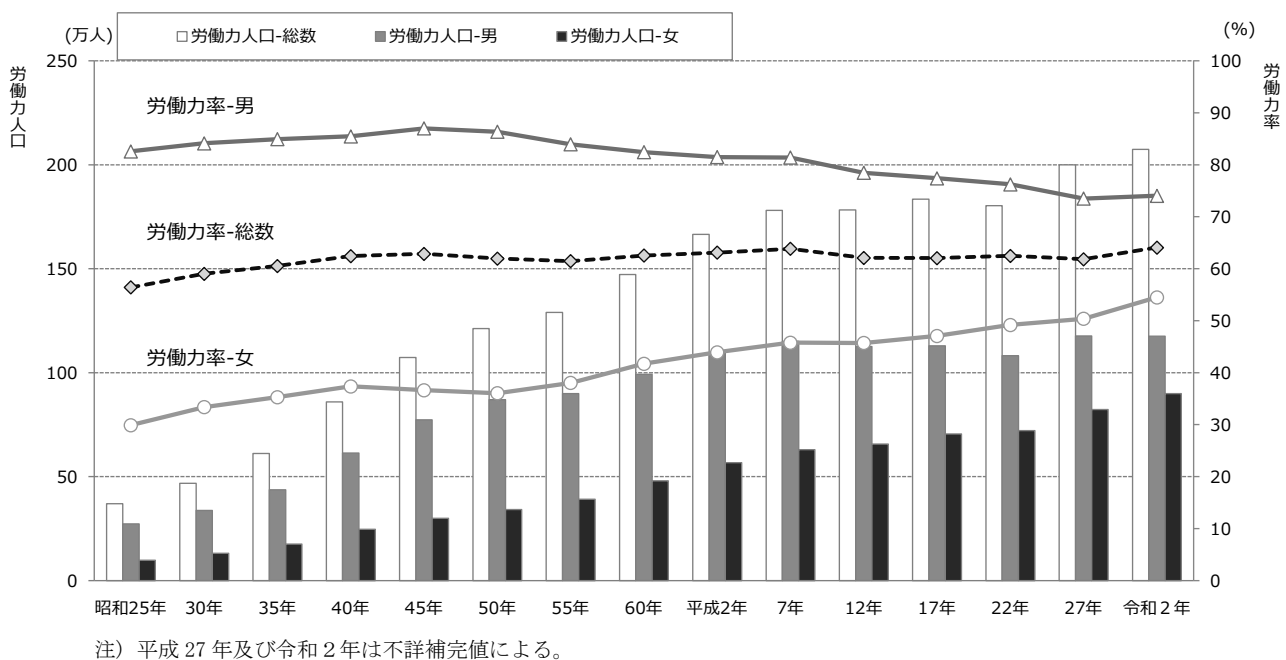


図6-2 労働力状態、男女別15歳以上労働力人口の割合（令和2年）

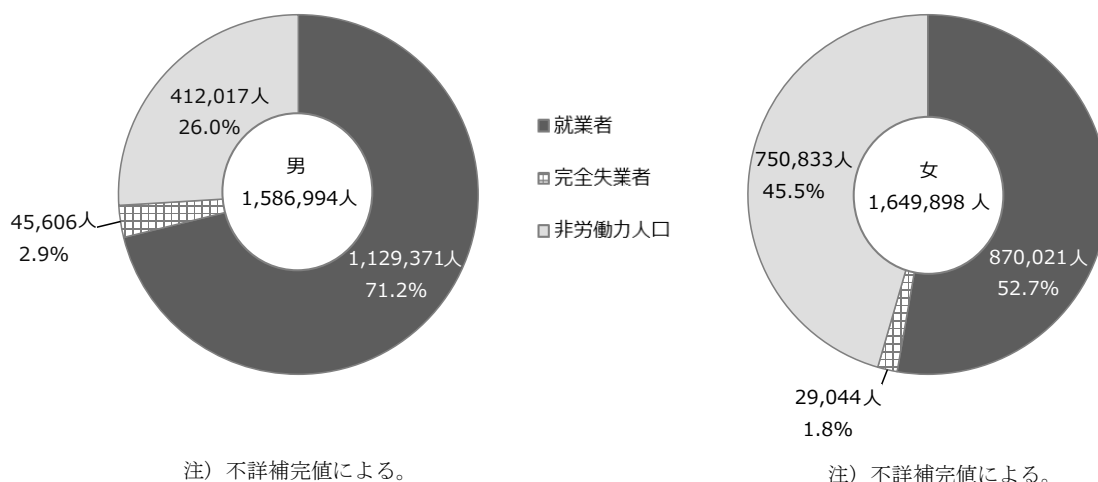


表6-1 労働力状態、男女別15歳以上人口の推移（昭和25年～令和2年）

男女 年次	15歳以上人口（人）					労働力率 （%）	完全 失業率 （%）	対前回増減率（%）	
	総数 ¹⁾	労働力人口			非労働力 人口			15歳以上 人口	労働力 人口
		総数	就業者	完全 失業者					
総数									
昭和25年 ²⁾	656,292	370,196	357,112	13,084	286,037	56.4	3.5	-	-
30年	793,564	468,359	447,878	20,481	325,201	59.0	4.4	20.9	26.5
35年	1,010,702	611,736	604,504	7,232	398,854	60.5	1.2	27.4	30.6
40年	1,377,600	859,949	846,648	13,301	517,329	62.4	1.5	36.3	40.6
45年	1,707,325	1,073,032	1,058,905	14,127	634,183	62.9	1.3	23.9	24.8
50年	1,956,378	1,212,266	1,184,241	28,025	744,112 ³⁾	62.0	2.3	14.6	13.0
55年	2,104,331	1,289,753	1,258,353	31,400	808,990	61.5	2.4	7.6	6.4
60年	2,362,299	1,472,075	1,425,917	46,158	881,910	62.5	3.1	12.3	14.1
平成2年	2,651,769	1,665,252	1,618,075	47,177	973,682	63.1	2.8	12.3	13.1
7年	2,812,368	1,780,067	1,700,629	79,438	1,008,369	63.8	4.5	6.1	6.9
12年	2,940,204	1,783,068	1,699,750	83,318	1,089,222	62.1	4.7	4.5	0.2
17年	3,063,487	1,834,323	1,736,859	97,464	1,122,583	62.0	5.3	4.2	2.9
22年	3,176,601	1,803,113	1,703,374	99,739	1,082,713	62.5	5.5	3.7	△1.7
27年	3,233,781	1,999,241	1,924,009	75,232	1,234,540	61.8	3.8	1.8	10.9
令和2年	3,236,892	2,074,042	1,999,392	74,650	1,162,850	64.1	3.6	0.1	3.7
男									
昭和25年 ²⁾	330,326	272,740	264,215	8,525	57,555	82.6	3.1	-	-
30年	401,041	337,368	322,175	15,193	63,669	84.1	4.5	21.4	23.7
35年	514,027	436,498	431,430	5,068	77,490	84.9	1.2	28.2	29.4
40年	717,986	613,594	604,156	9,438	104,305	85.5	1.5	39.7	40.6
45年	888,836	773,247	763,482	9,765	115,500	87.0	1.3	23.8	26.0
50年	1,007,951	870,432	849,581	20,851	137,519 ³⁾	86.4	2.4	13.4	12.6
55年	1,072,805	898,953	876,158	22,795	172,050	83.9	2.5	6.4	3.3
60年	1,209,220	992,347	960,773	31,574	211,594	82.4	3.2	12.7	10.4
平成2年	1,355,640	1,098,018	1,067,097	30,921	249,663	81.5	2.8	12.1	10.6
7年	1,431,232	1,150,709	1,099,193	51,516	263,208	81.4	4.5	5.6	4.8
12年	1,484,181	1,126,113	1,071,869	54,244	309,076	78.5	4.8	3.7	△2.1
17年	1,534,757	1,129,077	1,065,183	63,894	329,462	77.4	5.7	3.4	0.3
22年	1,583,778	1,081,378	1,015,632	65,746	337,095	76.2	6.1	3.2	△4.2
27年	1,600,915	1,176,699	1,128,021	48,678	424,216	73.5	4.1	1.1	8.8
令和2年	1,586,994	1,174,977	1,129,371	45,606	412,017	74.0	3.9	△0.9	△0.1
女									
昭和25年 ²⁾	325,966	97,456	92,897	4,559	228,482	29.9	4.7	-	-
30年	392,523	130,991	125,703	5,288	261,532	33.4	4.0	20.4	34.4
35年	496,675	175,238	173,074	2,164	321,364	35.3	1.2	26.5	33.8
40年	659,614	246,355	242,492	3,863	413,024	37.4	1.6	32.8	40.6
45年	818,489	299,785	295,423	4,362	518,683	36.6	1.5	24.1	21.7
50年	948,427	341,834	334,660	7,174	606,593 ³⁾	36.0	2.1	15.9	14.0
55年	1,031,526	390,800	382,195	8,605	636,940	38.0	2.2	8.8	14.3
60年	1,153,079	479,728	465,144	14,584	670,316	41.7	3.0	11.8	22.8
平成2年	1,296,129	567,234	550,978	16,256	724,019	43.9	2.9	12.4	18.2
7年	1,381,136	629,358	601,436	27,922	745,161	45.8	4.4	6.6	11.0
12年	1,456,023	656,955	627,881	29,074	780,146	45.7	4.4	5.4	4.4
17年	1,528,730	705,246	671,676	33,570	793,121	47.1	4.8	5.0	7.4
22年	1,592,823	721,735	687,742	33,993	745,618	49.2	4.7	4.2	2.3
27年	1,632,866	822,542	795,988	26,554	810,324	50.4	3.2	2.5	14.0
令和2年	1,649,898	899,065	870,021	29,044	750,833	54.5	3.2	1.0	9.3

注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

なお、令和2年の前回との差は不詳補完値により、平成27年以前の前回との差は原数値により算出。

1) 労働力状態「不詳」を含む。

2) 調査対象が14歳以上であったため、全ての数値は14歳以上である。

3) 非労働力人口に労働力状態「不詳」を含む。

2 男女、年齢別労働力人口及び労働力率

女性の労働力率が引き続き上昇し、「M字カーブ」の底がさらに上昇

15歳以上人口の労働力率を男女、年齢階級別にみると、男性は25歳から59歳までの各年齢階級で90%台と高く、それ以外の年齢階級で低い「台形型」となっていますが、女性は25～29歳の88.3%と45～49歳の77.6%を頂点とし、35～39歳の73.9%を底とする「M字カーブ」となっています。

いわゆる男女雇用機会均等法が施行される直前の昭和60年と、平成27年、令和2年の労働力率の推移をみると、男性は15歳から59歳の各年齢階級で低下し、平成27年以降は60歳から69歳の各年齢階級で上昇しています。女性の25歳から74歳の各年齢階級の労働力率は、平成27年以降上昇しています。

また、特に女性の25～29歳（88.3%）と35～39歳（73.9%）との差が14.4ポイントとなり、前回調査（16.7ポイント）と比べ、さらに「M字カーブ」の底が上昇しています。

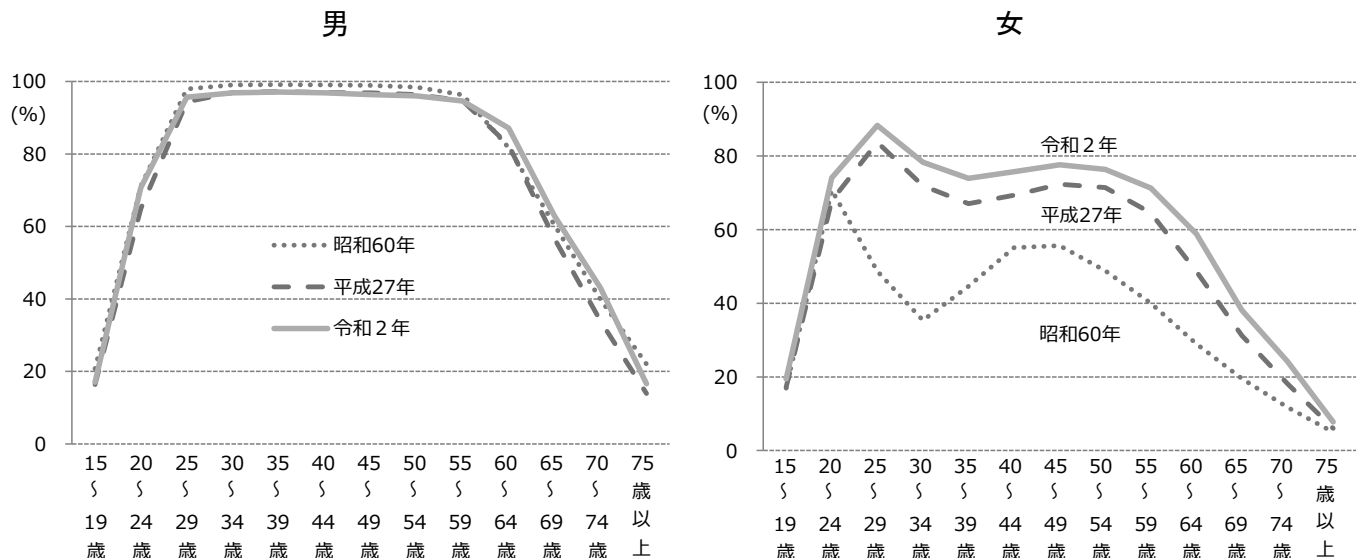
【表6-2、図6-3】

表6-2 年齢（5歳階級）、男女別労働力率の推移（昭和60年～令和2年）

男女 年次	総数	(単位：%)													
		15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	(再掲) 65歳 以上
男															
昭和60年	82.4	20.7	71.1	97.9	99.1	99.1	99.1	98.9	98.4	96.3	81.7	60.3	39.9	22.0	42.0
平成2年	81.5	20.7	72.6	97.8	99.0	99.1	99.1	99.0	98.5	96.8	80.3	58.4	36.8	19.9	39.7
7年	81.4	18.1	71.1	97.1	98.7	99.0	98.9	98.7	98.2	96.7	81.6	57.5	36.5	18.6	39.9
12年	78.5	17.1	66.5	95.2	97.6	98.1	98.1	97.9	97.4	95.3	74.0	49.7	28.7	15.3	33.0
17年	77.4	18.7	67.0	95.3	97.6	98.1	98.2	97.9	97.2	95.6	76.8	50.1	29.5	14.3	31.6
22年	76.2	16.8	64.3	95.2	97.6	97.9	98.0	97.8	97.2	95.6	82.6	56.2	33.5	15.7	34.4
27年	73.5	16.4	64.9	94.4	96.9	97.2	96.9	96.8	96.4	94.7	82.4	56.5	33.9	13.9	32.6
令和2年	74.0	17.0	70.7	95.6	96.8	97.1	96.9	96.4	96.0	94.6	87.1	62.8	43.0	16.6	35.2
女															
昭和60年	41.7	16.9	70.7	48.7	35.4	44.6	55.1	55.7	48.8	40.0	29.0	19.5	11.7	5.0	12.0
平成2年	43.9	17.1	73.2	59.3	38.2	44.2	55.2	59.3	54.1	43.3	29.4	19.4	11.8	5.2	11.9
7年	45.8	15.5	72.3	66.3	45.3	45.2	54.4	59.9	57.7	49.4	32.2	20.3	12.6	5.3	12.4
12年	45.7	16.3	69.5	70.4	51.6	49.3	56.7	60.6	58.9	51.1	33.6	18.9	11.3	5.1	11.3
17年	47.1	19.0	69.0	75.0	58.1	54.2	61.9	66.4	62.5	55.3	37.8	21.9	11.7	5.1	11.9
22年	49.2	17.4	67.8	79.7	65.5	59.6	64.2	69.7	67.9	59.4	45.7	28.8	16.2	6.1	15.1
27年	50.4	17.2	67.9	83.7	71.9	67.0	69.4	72.4	71.4	64.6	48.7	31.2	18.1	6.1	15.6
令和2年	54.5	19.4	74.1	88.3	78.3	73.9	75.7	77.6	76.4	71.3	58.8	38.1	24.2	7.7	17.8

注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

図6-3 年齢（5歳階級）、男女別労働力率（昭和60年、平成27年、令和2年）



注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

3 男女、配偶関係別労働力率

女性の「有配偶」の労働力率は30歳から74歳の各年齢階級で低い

15歳以上人口の労働力率を男女、配偶関係別にみると、男性は「有配偶」の労働力率が他の配偶関係に比べて高く、そのうち25歳から49歳までの各年齢階級で労働力率が99%台となっています。40歳から74歳の各年齢階級でみると、「死別」及び「離別」に比べ、「未婚」の労働力率が低い傾向となっています。

一方、女性の「未婚」では25～29歳の労働力率が94.1%と最も高く、30歳から74歳の各年齢階級で他の配偶関係に比べ、「有配偶」の労働力率が低くなっています。

また、女性の「有配偶」の年齢階級別労働力率は女性全体の労働力率と同様、25～29歳(73.0%)と45～49歳(73.6%)を頂点とし、35～39歳(66.3%)を底とした「M字カーブ」となっています。

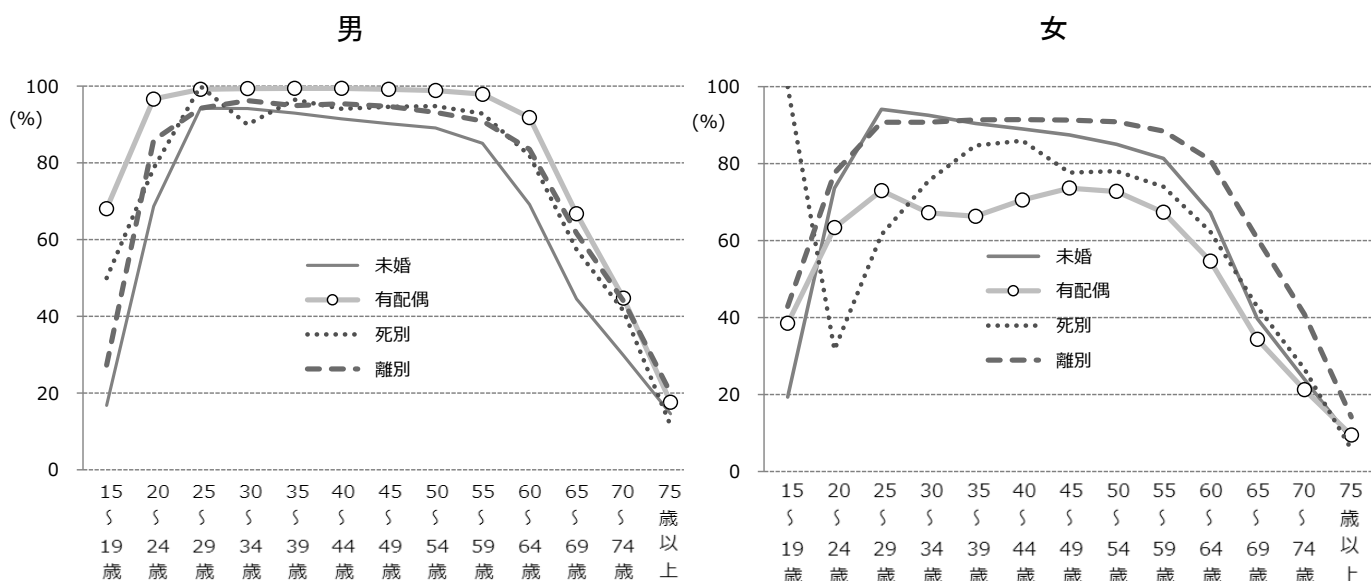
【表6-3、図6-4】

表6-3 配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別労働力率(令和2年)

		(単位：%)													
男女 配偶関係	総数	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	(再掲) 65歳 以上
男 ¹⁾	73.1	16.9	69.6	95.4	96.7	97.0	96.8	96.4	96.1	94.8	87.4	63.0	43.0	16.6	35.7
未婚	70.9	16.8	68.7	94.2	94.2	93.0	91.5	90.2	89.1	85.1	69.2	44.5	29.8	14.6	32.9
有配偶	76.6	68.1	96.7	99.2	99.4	99.4	99.4	99.2	98.9	97.9	91.8	66.8	44.7	17.6	37.6
死別	28.7	50.0	78.6	100.0	90.0	96.5	94.1	94.6	94.8	92.9	81.9	57.4	41.4	11.5	20.5
離別	75.0	27.3	85.9	94.2	96.2	94.9	95.4	94.7	93.2	90.9	83.5	61.7	44.0	20.1	42.1
女 ¹⁾	53.8	19.4	73.3	87.9	77.6	73.4	75.4	77.4	76.2	71.1	58.6	37.9	24.0	7.7	18.1
未婚	68.1	19.3	73.6	94.1	92.6	90.4	89.0	87.4	85.0	81.3	67.3	39.7	24.0	8.4	21.5
有配偶	54.0	38.5	63.4	73.0	67.2	66.3	70.5	73.6	72.8	67.3	54.7	34.3	21.2	9.4	20.4
死別	15.6	100.0	31.6	61.5	75.5	84.7	86.0	77.7	78.1	74.0	62.3	42.7	26.7	5.8	10.9
離別	70.6	42.9	77.6	90.8	90.8	91.4	91.4	91.3	90.9	88.4	81.0	60.5	40.9	14.2	35.7

1) 配偶関係「不詳」を含む。

図6-4 配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別労働力率(令和2年)



4 就業者

女性の就業者数は一貫して増加

15歳以上就業者は1,999,392人で、前回調査と比べ75,383人(3.9%)増加しています。

男女別にみると、男性は1,129,371人(就業者の56.5%)、女性は870,021人(同43.5%)となっており、前回と比べ男性は1,350人(0.1%)増加、女性は74,033人(9.3%)増加となっています。

また、就業状態別割合をみると、男性は「主に仕事」が93.5%と就業者の大部分を占めていますが、女性は「主に仕事」が66.4%、「家事のほか仕事」が27.0%となっています。前回調査と比べると、「主に仕事」は男性では8,449人(0.8%)減少、女性では77,363人(15.5%)増加となっています。一方、「家事のほか仕事」は男性は2,665人(14.7%)増加しているのに対し、女性は15,072人(6.0%)の減少となっています。

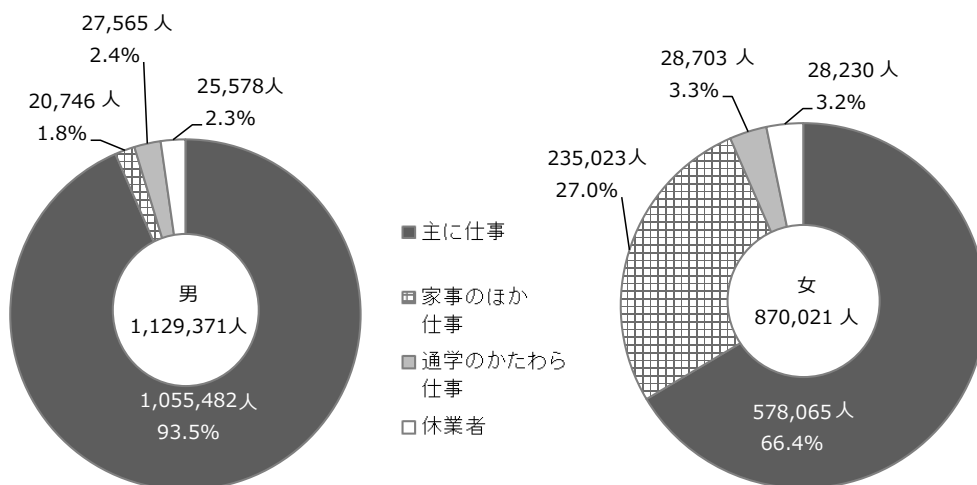
【表6-4、図6-5】

表6-4 就業状態、男女別15歳以上就業者の推移(昭和55年~令和2年)

男女 年次	15歳以上就業者数(人)					就業状態別割合(%)			
	総数	主に仕事	家事のほ か仕事	通学 のかたわ ら仕事	休業者	主に 仕事	家事の ほか 仕事	通学 のかたわ ら 仕事	休業者
総数									
昭和55年	1,258,353	1,087,976	146,112	12,419	11,846	86.5	11.6	1.0	0.9
60年	1,425,917	1,205,296	188,626	19,793	12,202	84.5	13.2	1.4	0.9
平成2年	1,618,075	1,386,540	188,729	28,413	14,393	85.7	11.7	1.8	0.9
7年	1,700,629	1,433,483	214,884	35,834	16,428	84.3	12.6	2.1	1.0
12年	1,699,750	1,437,878	201,918	38,294	21,660	84.6	11.9	2.3	1.3
17年	1,736,859	1,420,320	238,262	46,167	32,110	81.8	13.7	2.7	1.8
22年	1,703,374	1,388,546	235,892	44,781	34,155	81.5	13.8	2.6	2.0
27年	1,924,009	1,564,633	268,176	51,458	39,742	81.3	13.9	2.7	2.1
令和2年	1,999,392	1,633,547	255,769	56,268	53,808	81.7	12.8	2.8	2.7
男									
昭和55年	876,158	856,896	2,391	8,422	8,449	97.8	0.3	1.0	1.0
60年	990,773	936,704	2,711	13,051	8,307	94.5	0.3	1.3	0.8
平成2年	1,067,097	1,036,853	3,541	17,916	8,787	97.2	0.3	1.7	0.8
7年	1,099,193	1,062,450	6,061	20,977	9,705	96.7	0.6	1.9	0.9
12年	1,071,869	1,030,218	8,223	21,249	12,179	96.1	0.8	2.0	1.1
17年	1,065,183	1,009,913	12,383	25,107	17,780	94.8	1.2	2.4	1.7
22年	1,015,632	959,241	14,273	23,770	18,348	94.4	1.4	2.3	1.8
27年	1,128,021	1,063,931	18,081	26,668	19,341	94.3	1.6	2.4	1.7
令和2年	1,129,371	1,055,482	20,746	27,565	25,578	93.5	1.8	2.4	2.3
女									
昭和55年	382,195	231,080	143,721	3,997	3,397	60.5	37.6	1.0	0.9
60年	465,144	268,592	185,915	6,742	3,895	57.7	40.0	1.4	0.8
平成2年	550,978	349,687	185,188	10,497	5,606	63.5	33.6	1.9	1.0
7年	601,436	371,033	208,823	14,857	6,723	61.7	34.7	2.5	1.1
12年	627,881	407,660	193,695	17,045	9,481	64.9	30.8	2.7	1.5
17年	671,676	410,407	225,879	21,060	14,330	61.1	33.6	3.1	2.1
22年	687,742	429,305	221,619	21,011	15,807	62.4	32.2	3.1	2.3
27年	795,988	500,702	250,095	24,790	20,401	62.9	31.4	3.1	2.6
令和2年	870,021	578,065	235,023	28,703	28,230	66.4	27.0	3.3	3.2

注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

図6-5 就業状態、男女別15歳以上就業者の割合（令和2年）



注) 不詳補完値による。

注) 不詳補完値による。

5 完全失業者

完全失業率は0.2ポイント低下

15歳以上完全失業者数は74,650人で、前回調査と比べ582人(0.8%)減少しています。

男女別にみると、男性は45,606人、女性は29,044人で、前回と比べ男性は3,072人(6.3%)減少、女性は2,490人(9.4%)増加となっています。

また、完全失業率をみると、前回の3.8%から0.2ポイント低下し、3.6%となっています。

さらに年齢階級別にみると、男性は15~19歳、女性は20~24歳が最も高くそれぞれ6.2%、4.4%となっています。

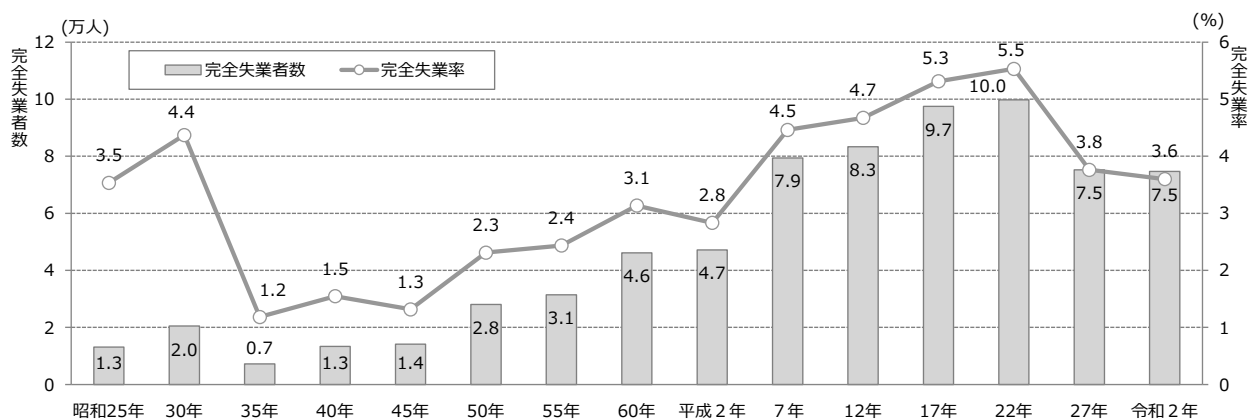
【表6-5、図6-6、図6-7】

表6-5 完全失業者数及び完全失業率の推移（昭和25年~令和2年）

年次	完全失業者数(人)			完全失業率(%)		
	総数	男	女	総数	男	女
昭和25年	13,084	8,525	4,559	3.5	3.1	4.7
30年	20,481	15,193	5,288	4.4	4.5	4.0
35年	7,232	5,068	2,164	1.2	1.2	1.2
40年	13,301	9,438	3,863	1.5	1.5	1.6
45年	14,127	9,765	4,362	1.3	1.3	1.5
50年	28,025	20,851	7,174	2.3	2.4	2.1
55年	31,400	22,795	8,605	2.4	2.5	2.2
60年	46,158	31,574	14,584	3.1	3.2	3.0
平成2年	47,177	30,921	16,256	2.8	2.8	2.9
7年	79,438	51,516	27,922	4.5	4.5	4.4
12年	83,318	54,244	29,074	4.7	4.8	4.4
17年	97,464	63,894	33,570	5.3	5.7	4.8
22年	99,739	65,746	33,993	5.5	6.1	4.7
27年	75,232	48,678	26,554	3.8	4.1	3.2
令和2年	74,650	45,606	29,044	3.6	3.9	3.2

注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

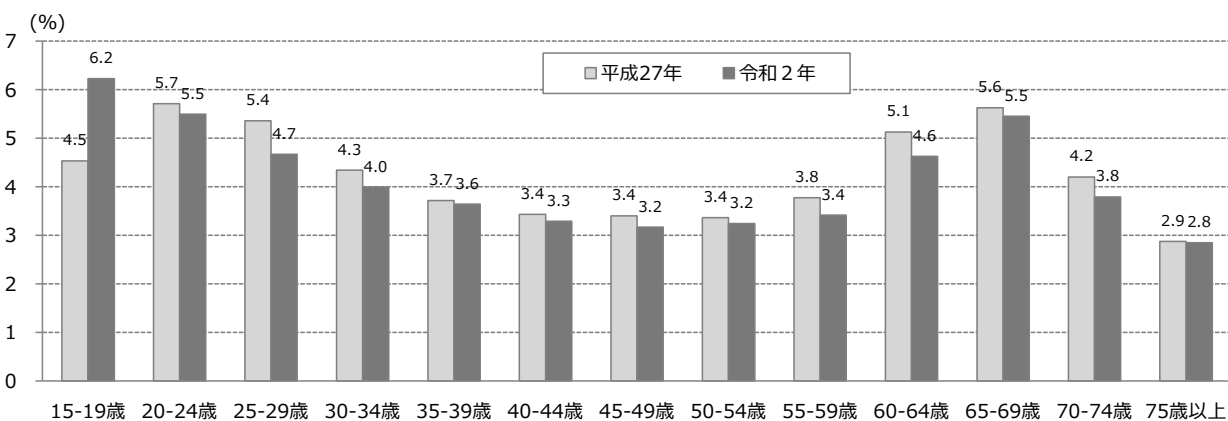
図6-6 完全失業者数及び完全失業率の推移（昭和25年～令和2年）



注) 平成27年及び令和2年は不詳補充値による。

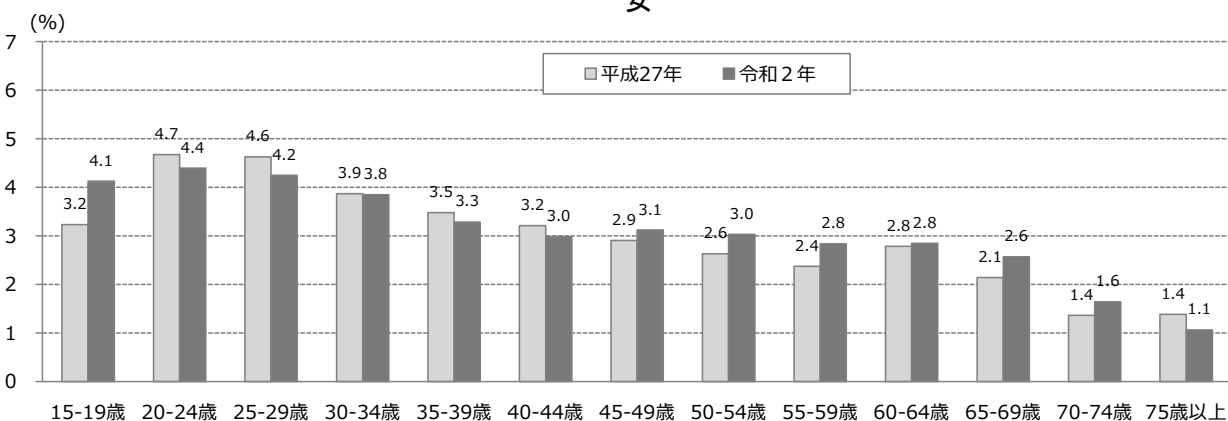
図6-7 男女、年齢（5歳階級）別15歳以上男女別完全失業率（平成27年、令和2年）

男



注) 不詳補充値による。

女



注) 不詳補充値による。

6 行政区別労働力人口及び労働力率

労働力人口は金沢区、中区で減少、他 16 区では増加

15歳以上労働力人口を行政区別にみると、港北区（210,314人、労働力人口の10.1%）が最も多く、次いで鶴見区（176,428人、同8.5%）、青葉区（166,478人、同8.0%）、戸塚区（148,619人、同7.2%）となっています。前回調査と比べると、15歳以上人口は磯子区（3.2%減）、金沢区（2.4%減）など11区で減少していますが、労働力人口は金沢区（0.2%減）、中区（0.2%減）を除き、16区で増加となっています。

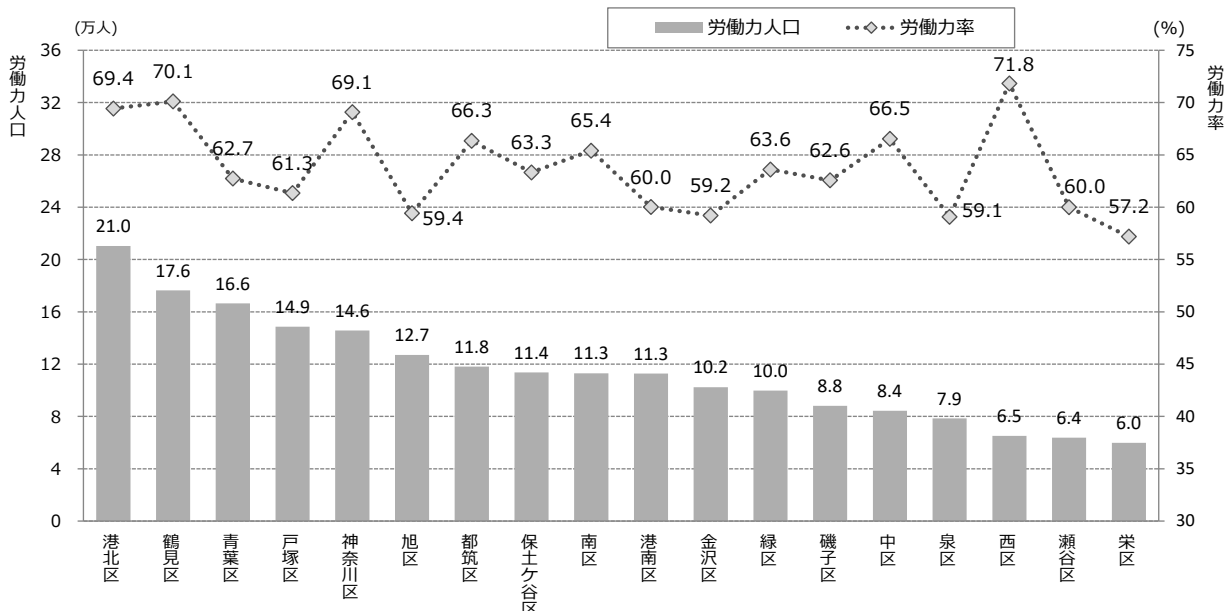
また、労働力率を行政区別にみると、西区が71.8%と最も高く、次いで鶴見区（70.1%）、港北区（69.4%）、神奈川区（69.1%）となっています。一方、最も低いのは栄区（57.2%）で、最も高い西区との差は14.6ポイントとなっています。【表6-6、図6-8】

表6-6 労働力状態別15歳以上人口—市、行政区（令和2年）

行政区	15歳以上人口(人)					労働力率(%)	完全失業率(%)	対前回増減率(%)	
	総数	労働力人口			非労働力人口			15歳以上人口	労働力人口
		総数	就業者	完全失業者					
横浜市	3,236,892	2,074,042	1,999,392	74,650	1,162,850	64.1	3.6	0.1	3.7
鶴見区	251,628	176,428	170,579	5,849	75,200	70.1	3.3	2.3	6.3
神奈川区	210,782	145,638	140,614	5,024	65,144	69.1	3.4	0.6	4.9
西区	90,764	65,197	62,981	2,216	25,567	71.8	3.4	4.5	8.5
中区	126,813	84,376	80,676	3,700	42,437	66.5	4.4	△2.4	△0.2
南区	172,833	113,045	107,975	5,070	59,788	65.4	4.5	△0.1	4.0
港南区	187,817	112,742	108,593	4,149	75,075	60.0	3.7	△0.8	2.2
保土ヶ谷区	179,520	113,689	109,235	4,454	65,831	63.3	3.9	△0.7	3.4
旭区	213,741	127,022	122,079	4,943	86,719	59.4	3.9	△1.3	2.2
磯子区	140,698	88,036	84,689	3,347	52,662	62.6	3.8	△3.2	0.5
金沢区	172,901	102,356	98,469	3,887	70,545	59.2	3.8	△2.4	△0.2
港北区	302,879	210,314	203,693	6,621	92,565	69.4	3.1	1.2	5.0
緑区	156,771	99,709	96,232	3,477	57,062	63.6	3.5	1.2	4.7
青葉区	265,354	166,478	161,320	5,158	98,876	62.7	3.1	△0.1	3.7
都筑区	178,020	118,105	114,713	3,392	59,915	66.3	2.9	1.7	5.4
戸塚区	242,276	148,619	143,308	5,311	93,657	61.3	3.6	2.4	5.6
栄区	104,757	59,904	57,633	2,271	44,853	57.2	3.8	△1.6	1.7
泉区	132,978	78,575	75,572	3,003	54,403	59.1	3.8	△0.7	3.3
瀬谷区	106,360	63,809	61,031	2,778	42,551	60.0	4.4	△1.2	2.0

注) 不詳補完値による。

図6-8 行政区別労働力人口及び労働力率（令和2年）



注) 不詳補完値による。